

都市再生整備計画 事後評価シート  
輪島地区

平22年11月

石川県輪島市

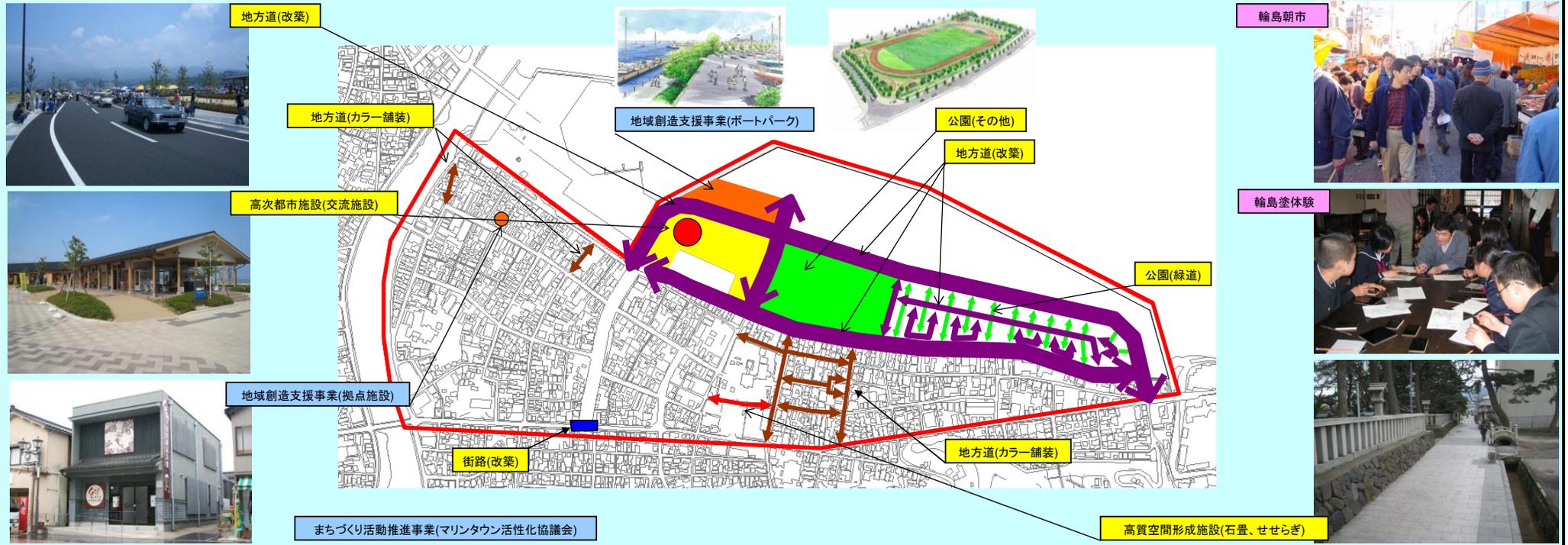
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	輪島市		地区名	輪島地区			面積	47ha	
交付期間	H18～H22		事後評価実施時期	H22		交付対象事業費	7306.1	国費率	40%			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	道路(河井海岸線、マリンタウン1号線～10号線ほか9路線)、高質空間形成施設(重蔵の小径)、高次都市施設(観光交流センター)								
	新たに追加した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
			基幹事業	駐車場			観光交流施設との一体的な利用としたことから削除した。			まちづくりの目標達成に関してプラスの影響があるが目標も指標も据え置く。		
	交付期間の変更		当初	H18～H22		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-			
			変更	-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	観光客数	人/年	1,378,100	H15	1,400,000	H22	915,000	1,039,000	△	あり なし ●	H23年5月
	指標2	宿泊客数	人/年	208,840	H15	210,000	H22	170,300	189,000	△	あり なし ●	H23年5月
	指標3	朝市入り込み客数	人/年	926,000	H15	1,000,000	H22	630,000	714,000	△	あり なし ●	H23年5月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	輪島工房長屋における輪島塗体験者数	人/年	850	H15			-	2,525			観光交流センターや周辺道路等の整備により市街地における回遊性が向上し各施設へのアクセスが容易になったことで来訪者数が増加したと考えられる。
その他の数値指標2	マリンタウンにおけるイベント開催回数	回/年	2	H15			-	5			観光交流センター等の整備により大規模なイベントの開催が可能になったこと、周辺道路の整備によりイベント会場へのアクセスが向上したことによりイベント開催回数が増加したと考えられる。	H23年5月
4)定性的な効果発現状況	マリンタウン活性化協議会を設立し、マリンタウンを中心とした各種の活動を展開している。特に豪華客船の受け入れの際には協議会を中心として市民あがりの歓迎迎を実施。乗船客や船会社等からは、「日本一の歓迎迎」との評価を受けるまでになっている。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	指標にかかる数値の把握		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 今後同様に把握していく予定。				
	住民参加プロセス	公園整備、地域創造支援事業等において設計段階から地域住民の意見を反映できるよう委員会等を開催した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● 整備した施設の維持管理等においても、住民参加で実施できるよう取り組みを行う予定。				
持続的なまちづくり体制の構築	マリンタウン活性化協議会を組織し、利活用に関する取り組みを実施した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ● ● マリンタウンを中心とした地区内の活性化に向けた取り組みを継続して実施する予定。					

## 様式2-2 地区の概要

輪島地区(石川県輪島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: 滞在型都市への転換を目指して ~いつまでも、のんびりいたくなる漆の郷づくり~ 目標1 回遊性の向上による滞在時間と宿泊者数の増加 目標2 漆文化の活用と発信による輪島塗を楽しむ機会の増加 目標3 マリントウンにおける機能の充実と、中心部との相互連携による魅力の向上	観光客数	単位: 人/年	1,378,100 H15	1,400,000 H22	1,039,000 H22
	宿泊客数	単位: 人/年	208,840 H15	210,000 H22	189,000 H22
	朝市入り込み客数	単位: 人/年	926,000 H15	1,000,000 H22	714,000 H22
	輪島工房長屋における輪島塗体験者数	単位: 人/年	850 H15	-	2,525 H22
	マリントウンにおけるイベント開催回数	単位: 回/年	2 H15	-	5 H22



**まちの課題の変化** 当初は、市街地における滞在時間や拠点施設間の連携、輪島塗の魅力度に関する改善、マリントウンと既存市街地の連携の必要性等が課題としてあげられていたが、事業の実施により市街地の回遊性が向上し、各拠点施設や周辺地区へのアクセスが容易となったほか、輪島塗の魅力に触れる機会が増加したことで輪島朝市を目的とした午前以外にも午後の滞在を楽しむ環境が概ね整った。また、これまで市街地になかった機能をマリントウンに整備したことにより、マリントウンと既存市街地の機能分担を達成できたと考えられる。当初の課題に追い打ちをかけるように事業期間中に能登半島地震の発生により観光客数等が激減したが、事業の実施により相当数にまで回復できたと考えられる。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)** 各施設の魅力の向上を図るためイベントの実施やPR等、ソフト面を充実させることにより、事業の効果を継続させる。幹線道路の整備により拠点間のアクセスは向上したが、細街路の整備が遅れており、観光客のみではなく市民を対象とした利便性の向上を図るため、細街路に対する整備を実施する。滞在時間を延長する環境が整いつつある中で宿泊に繋がっていない状況にあることから、新たな施設整備やソフト面における取り組みについて検討を行う。以上の方策や改善策と併せて新たに市民間交流に関する課題や目標を計画化することにより総合的なまちづくりを実施する。